

みんなのふるさと

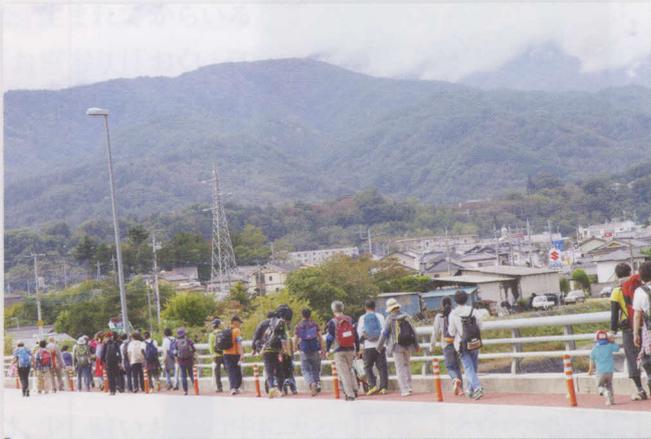
夢プロジェクト

あおぞら共和国

紅葉ウォークが行われました。

10月17日、恒例の秋のチャリティー・ウォーク（JR日野春駅～あおぞら共和国：約12km）が開催されました。当初参加者は60名ぐらいだろうと予想していたのですが、100名近い方々のご参加をいただきました。前日から当日朝

にかけて南関東では雨模様で開催が危ぶまれたのですが、さすが日照時間日本一の北杜市は、汗ばむほどの青空が広がり、色づき始めた紅葉を眺めながら楽しい一日を過ごすことが出来ました。



①釜無川橋を渡る参加者



②「水車の里公園」で



③「水車の里公園」を出発



④北杜市前沢の旧道を歩く

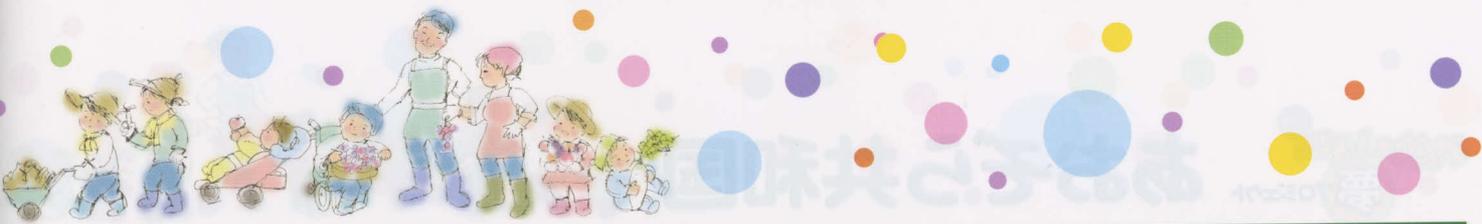
あおぞらふるさと祭りが行われました。

10月17日、チャリティー・ウォークに合わせ、地元の方のご協力により、あおぞら共和国を会場として「あおぞらふるさと祭り」が開催されました。あおぞらふるさと祭りは、「あおぞら共和国」の利用者さんと、白州周辺地域・八ヶ岳周辺地域に暮らす人々との交流を目的に計画されています。地元在住の西谷実行委員長のもと、地元や甲府一高OBの皆さんで実行委員会を立ち上げ、企画・運営していただきました。

当日は、コーヒー、焼き鳥、焼きそば、豚汁などの飲食

系のお店や、新米や無農薬野菜など農産物の販売、木工品や革細工のワークショップなど数多くの出店と、和太鼓、アカペラコーラス、フラダンスなど多彩な演奏、演技が行われ、大勢のご来場者に楽しんでいただきました。

14時半頃からチャリティー・ウォーク参加者のゴールが始まり、終盤の演奏・演技に間に合いフラダンスを鑑賞したり、出店の焼きそばや豚汁、野菜、新米、ジャムなど買い物をしたりと一緒に楽しむことが出来ました。到着後の舞台では、西谷実行委員長からあおぞら共和国を造った



ロッジ3号棟工事

きっかけや、地域とのつながりについて小林会長や仁志田総支配人にインタビューがありました。

「あおぞらふるさと祭り」にご協力いただいた皆様、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。あおぞら

共和国までのアクセスは自家用車利用の方が多かったと思いますが、お隣の藤田製作所様にはころよく駐車場をお貸しいただきましたので、スムーズに交通整理が出来ましたこと感謝いたします。



⑤西谷実行委員長(右端)のインタビュー



⑥あおぞらふるさと祭り



⑦あおぞらふるさと祭り



⑧あおぞらふるさと祭り

秋の草刈り・薪割りボラにご参加いただき有難うございました。

11月7～8日に敷地内の草刈りと、2・4号棟の薪ストーブ用の薪割りボランティアが行われました。1日目は好天の中30人の方にご参加いただき、草刈り班と、薪調達班とに分かれ作業を開始、夏の間にはびこった、エノコログサやコセンダングサなどを刈り取ったり掘り取ったり汗を流していただきました。薪は武川の清水さんからいただけることになり、山の中から人海戦術で運び出させていただきました。

2日目は深夜から降り始めた雨の中20人の方にご参

加いただき、草刈りや真原地区への薪の原木調達、薪割り作業を行っていただきました。雨の中を一日中作業していただきお疲れ様でした。

草刈りではコセンダングサの種で、軍手や衣類をトゲだらけにして働いていただき、大変だったと思います。来年は雑草の種が成熟しない早い時期に、草刈りを企画した方が良いでしょうと思いました。

薪作り班は2日間で軽トラック9台分の薪を調達することができました。薪の調達に当たっては、「あおぞら祭り」

みんなのふりそで
夢プロジェクト

あおぞら共和国



紅葉ウォークが行われました。

でも実行委員長をされた西谷さんに調達先をご紹介いただくなど、大変お世話になりました。また、鳥原の名取さんから強力な薪割機をお借りすることができましたので薪割が大変はかどりました。たくさんの薪をご提供いただいた武川の清水さん、真原のカフェ「かたかご」さん有

難うございました。これで今シーズンに使う薪は確保できたと思います。

毎回ご協力いただくサントリー白州工場様からは、今回も14名の助っ人と、天然水などの差し入れをいただきましたこと、感謝いたします。皆さまお疲れ様でした。



⑨草刈り前



⑩草刈り後



⑪調達した薪の原木



⑫強力な薪割機



⑬割られた薪の山



⑭薪小屋に積まれた薪



ロッジ3号棟工事

ロッジ3号棟の工事は11月3日に棟上げし、現在、屋根葺き工事や外壁工事を施工中です。20人が利用できる棟なので外観も大きいです。



①左から浴室棟、4号棟、3号棟、2号棟、1号棟



②屋根葺き工事が始まっています



③外壁工事が始まっています

『あおぞら共和国』ご利用感想

北沢さんご家族(8~9月:2号棟ご利用)東京都在住

8月30日から予定どおり3泊4日で宿泊させて頂きました。何も問題なく、快適に使わせて頂きました。ありがとうございました。

2号棟は、天井が高くてとても気持ちよかったです。のぞみ(5)は2階がとても好きになり、何度も私とかくれんぼをしました。家内とのぞみが2階で遊んでいると、賢がひとりで急な階段をよろよろとなんとか登っていき、みんなでびっくりしました。降りることができないように、階段の上に扉があるのは助かりました。

二日目は少し足を延ばして塩尻のチロルの森に行って

きました。おもしろ自転車、ゴーカート、森の散歩、ちょっとした乗馬、牛の乳しぼりなど、のぞみは大喜びでした。賢も少しだけでも楽しいと思ってくれたら嬉しいです。

三日目は雨だったので、ロッジから車で15分ほどのところにあるリゾナーレ八ヶ岳という施設の室内プールに行ってみました。波がくるプールで、賢ものぞみも楽しそうでした。温水プールで、温かいジャグジーもついていて、体が冷える心配がなくてよかったです。その後、施設内のピーマン通りというところを散策しました。いずれもビジターでも気軽に入れるので、次回もゆっくり来てみたいと

みんなのふるさと
夢プロジェクト

あおぞら共和国



専工 就号 8 ビ ュ ロ

で思いました。おられた西谷さんに早速先をご紹介
ただ 管理人の青柳さんのご主人が、のぞみを見て「ずい
ぶん大きくなったね」と言っていました。昨年10月から約1年

後ですので、しばらく会っていないと子どもはすぐに大き
くなるのですね。毎日一緒にいると気がつかないもの
です。ありがとうございました。



①2号棟で



②リゾナーレ八ヶ岳のピーマン通りで

弘中さんご家族(10月:4号棟ご利用)千葉県在住

【お手紙】

拝啓 木々が色づく季節となりました。先日は、あお
ぞら共和国を使わせていただきありがとうございました。
娘の1歳の誕生日の記念にゆっくり過ごしたいと思い利用
させていただきました。4号棟“第1号”の宿泊者という
素敵なプレゼントをいただき、こんなにも素敵な空間で過
ごせた事本当に感謝しております。

お部屋は木の香りでリラックスでき暖炉を囲みながら
家族でたくさん笑って楽しい時間を過ごせました。夜は
本当に星空がきれい、どこまでも続く星を見てその美し
さに引き込まれてしまいました。

お風呂棟は、コンセントもすぐ近くにあるので吸引器も
すぐ使うことができ、何も気にする事なく家族でゆっくりお
風呂に入ることが出来ました。生れてから、ゆっくり外へ

出る事ができなかったのトンボを見たり、コスモスの香りを
嗅いだり、娘もたくさんの刺激を受け楽しい体験ができた
と思います。暖かくなったら、またぜひ利用したいです。

貴重な体験をさせていただき本当に感謝しております。
まずはお礼を申し上げたくお便りいたしました。

敬具

【Eメール】

先日はあおぞら共和国で、楽しい時間を過ごすことが
できました。本当にありがとうございました。自然に触れ、
家族みんなで笑いながら過ごした事で娘にはすごく刺
激的だったようで、成長にも少し変化がでた気がします!
病院を出てから、あんなに笑ったことはなかったので、貴
重な経験をさせて頂きました。暖かくなったら、また利用し
たいです。



③弘中さんご家族



④4号棟の前でお父さんに抱っこ



⑤人工呼吸器つけてても大丈夫

石井さんご家族(10月:2号棟ご利用)神奈川県在住

薪ストーブとても暖かくゆっくり過ごせました。ありがとうございました。(17日の秋のチャリティー・ウォーク終了後に宿泊を希望され、ご家族5人で利用されました。)



⑥石井さん3きょうだい

糸岡さんご家族(11月:2号棟ご利用)神奈川県在住

今年最後の3連休、家族で休息をと尋ねた、あおぞら共和国の我が宿泊棟をみて、びっくり。なんと会社で参加したFITチャリティランの寄付によって建てられた天然の木造。人一倍の喜びと驚きもって、1泊2日を楽しく過ごすことができました。



⑧紅葉の森を背景に



⑦糸岡さんご家族



⑨2号棟のロフトで





あおぞら共和国



みんなのふるさと“夢”プロジェクト 発足5周年記念 夢つなくチャリティウォーク2016

2011年7月16日(土)国立オリンピック記念青少年総合センターで「みんなのふるさと“夢”プロジェクト」発足会が開催されてから早5年。発足5周年を記念して、難病ネット事務局(水道橋)からあおぞら共和国まで、4回に分けてチャリティウォークを開催いたします。

みんなの夢をつなぐチャリティウォークに是非ご参加ください。

※参加には事前申し込みが必要です。開催日1週間前までにお申し込みください。

開催趣旨

「みんなのふるさと“夢”プロジェクト」の次の5年に向け、人と人をつなぐ輪をさらに広げるため。

期日・場所 : 2月20日(土)・21日(日)
難病ネット事務局 → 八王子 約45km

3月12日(土)・13日(日)
八王子 → 大月 約46km

4月2日(土)・3日(日)
大月 → 甲府 約48km

4月23日(土)・24日(日)
甲府 → あおぞら共和国 約34km

申込先 : お電話かメールにてお申し込みください。

電話 03-5840-5972

メール 件名を

「夢つなくチャリティウォーク2016参加申し込み」とし、
aозora@nanbyonet.or.jp まで

お送りください。





特集

みんなのふるさと

夢プロジェクト

あおぞら共和国

“あおぞら共和国”から

2014年7月、“あおぞら共和国”のロッジ1号棟の運用が開始されてから1年8ヶ月が経ちました。その間、同年の11月にロッジ2号棟、12月に浴室棟、翌2015年10月にはロッジ4号棟の運用を開始しました。また、本年（2016年）5月中旬からはロッジ3号棟も運用を開始する予定となっています。

初年度（2014.7～2015.3）の宿泊利用者総数は170人、今年度の4月から1月末までの宿泊利用者総数は633人となっており、5～6月頃には1,000人を超えるだろうと予想しております。

ロッジ1・2・4号棟は定員が各10名、ロッジ3号棟は定員20名となっていますので、最大50名の方が同時利用できるようになります。小規模な家族会ならば、サマーキャンプなど、会の行事を行う事も可能です。今までホテルや旅館などを利用する時に、一般客の目や言動を気にしながら宿泊し悲しい思いをしたり、旅行など初めか

ら諦めていた方が、誰にも気兼ねしないで利用できる場所としてご活用いただけたらと思っております。また、難病や障害を持つ子どもがいるご家族が、日々の疲れを癒すための「レスパイト施設」としてもご利用いただけたらと思っております。いただいたご利用感想でも、“あおぞら共和国”で過され心身ともにリフレッシュし「また頑張ることができる!」とのお言葉をいただいております。

“あおぞら共和国”ではロッジが増えた事により、家族単位で宿泊されている方同士の交流も始まっております。現在、難病ネットに登録されている親の会は56団体あります。互いに他の親の会や病気のことなどを理解しあえる良い機会です。同じ病気であれば年齢の違った方との交流は、小さい方は将来を考えることができるし、大きい方からは経験談を伝える事もできます。“あおぞら共和国”が、『こうあってほしい』と思っていたことが自然に始まっていることに感激しております。

ロッジ3号棟工事



①左から、4号棟、3号棟

暖冬だった今年の冬も1月下旬から大雪に見舞われ、“あおぞら共和国”も一面の銀世界になりました。その後は気温もあまり上がらないため、未だにかなり雪が残っているようです。

現在3号棟の工事は内装工事が進められており、外観としてはほとんど変わっている様子はありません。4月の完成をご期待ください。



②3号棟南側から



“あおぞら共和国”ご利用感想

スタージウェーバー家族の会
(9月：1・2号棟ご利用)

竹内寛志

“あおぞら共和国”を利用させていただきました。スタージウェーバー家族の会では、2015年9月22日から23日の一泊で、“あおぞら共和国”での旅行会を開催しました。



① 1号棟の前で記念写真

当会は、2013年4月から活動を始めた会で、難治性てんかんで顔面の赤アザや緑内障も伴うスタージウェーバー症候群の患者と家族の会です。当会では、立ち上げの当時から、「患者の不意のてんかん発作が心配で、何年も泊付きの旅行をしたことがない。専門医が帯同してもらえれば、一泊でも旅行ができる。」との意見があり、こうした旅行会を行うことを目的の一つとして立ち上げたのですが、いざ、旅行会を行うとなると、宿泊費に交通費と結構な費用がかかることに加え、参加の可否が当日の病状によることなどから、なかなか参加希望者が集まらず、当初は旅行会開催を見送らざるを得ませんでした。

そんな中、“あおぞら共和国”の宿泊棟が二棟完成し、宿泊は無料で費用は食費と交通費だけで済みますし、キャンセル料の発生など面倒なこともないことから、2015年は“あおぞら共和国”を利用させていただいて旅行会を行う計画を立てました。実施日は、気候的にも患者らの身体的負担が少なく、集まりやすいことからシルバウイークの最後の二日間に一泊で行うこととし、会の世話人をしていただいている専門医の先生をお願いしたとこ

ろ、お忙しい中、帯同していただけることになりました。その上で参加者を募ったところ、参加希望者は30名以上となりました。

こうして参加希望者が大勢になったのは嬉しかったのですが、問題は、この時点での“あおぞら共和国”の宿泊棟が定員各10名の2棟で、宿泊棟には20名までしか宿泊できないことでした。しかし、せっかくご希望いただいたのに参加者を絞ることはしたくなかったので、難病ネットのご了解を得た上で、敷地内にレンタルのテントを張り、アウトドア派の方にはテント泊をしていただくことにしました。実施日は両日とも快晴で、初日の正午頃に近くの「白州・尾白の森名水公園ベルガ」に各自の車で集まり、昼食をとって、三々五々、“あおぞら共和国”に移動しました。

事前には、希望者は果物狩りなどすることも考えていましたが、秋の日はすぐ落ち、日没後は真っ暗になるということで、到着後、大人たちは全員で手分けし、バーベキューの食材の買い出し、火おこし、テント設営に取り掛かりました。子供たちは、ロッジ風で2階がロフトになっている宿泊棟も、その前のトンボが飛ぶ敷地も絶好の遊び場で、皆、夢中になって遊んでいました。日が暮れる頃、バーベキューの準備ができ、カレーも作って全員で食事となりました。帯同していただいた専門医の先生がアメリカ仕込みでの技で焼いていただいた肉がびっくりするほど美味でした。



特集

みんがのあそび
夢プロジェクト

あおぞら共和国



子供たちは、お腹がいっぱいになると宿泊棟に入って就寝したのですが、大人たちは、初めてお酒が入った状態で語り合ったため、それぞれの苦労話や情報交換で話が尽きず、日付が変わっても語り合っている方もおり、子供たち以上に、大人の方が楽しんでいたかもしれません。翌朝は、連休最終日で道路混雑が予想されたので、早めに現地解散としましたが、カレーやホットケーキの朝食で大いに盛り上がりました。同じ病気の子供とその家族だけで、施設の方すらおらず、どなたにもご迷惑をお

かけしたり気兼ねしたりすることのない環境でのバーベキューや宿泊は、予想を上回る解放感があり、参加者全員が大満足でした。

今年はすでに新しい宿泊棟も完成しているとのことと、さらに大人数での旅行会が可能になっていますし、是非、このあおぞら共和国を利用させていただいての旅行会を当会の恒例の行事とし、会を盛り上げていきたいと思っております。



② 3号棟南側から



③ 皆で楽しい食事会

岩間さんご家族

(11月：1号棟ご利用) 東京都在住

11月初旬に利用させて頂きました。床暖房と、木のぬくもりが心地よく、そして何より誰にも気兼ねしないでいい、誰かにすみませんと言わなくていい、心の底から落ち着けるそんな幸せを感じる1泊でした。

2階のロフトに娘が寝たいと言い出し、でもそうくんが階段から落ちちゃうから無理よ、と言った瞬間まさかの鍵付きドアを発見、本当にかゆいところに手が届く、おばあ

ちゃんみたいなあったかさを感じました。そして、無理かと思っていた星は、天窓からまばゆいきらめきを放っているのを窓越しからしっかり感じる事が出来ました。

ここで感じたことを、いつまでもいつまでも忘れずに、そしてこれからも頑張っていこうとそんな気持ちになった一日でした。ありがとうございました。

写真は残念ながらあまりのくつろぎに撮るのを忘れてしまいました。

川島さんご家族

(11月：2号棟ご利用) 神奈川県在住

その節はお世話になりました。大変楽しいひと時を過ごす事が出来ました。11月の下旬に利用させて頂きました。その際管理人さん、他の棟を利用されていた方々（既に何度も利用されていた）に良くして頂き、大変お世話になりました。

さて利用させて頂き最も感動した事は、薪ストーブです。初めての体験でした。用意は管理人さんが予め全て整えてくださっていたので、後からまきを焚べるだけでした。その暖かさはものすごく、雰囲気もバツグンでした。残

念だった事は、利用当日は曇り空で期待していた星空が見られなかった事です。これは次回以降また利用させて頂く時までオアズケです。

また、あおぞら共和国は、サントリーの工場まで徒歩で行けたので、散歩がてら工場見学も出来、有意義でした。近くの道の駅には、美味しい水が自由に汲めたり、現地で取れた野菜が沢山販売されていたり、そこで作ったオヤキやオコワが美味しそうでした。次回は、シャトレーゼの工場や、近くの美術館を見学したいと、今から想いを巡らしています。

これからもよろしくお願いします。

関口さんご家族 (12月：2号棟ご利用)神奈川県在住

わたしの4歳の息子は大田原症候群でいわゆる重度心身障害児です。移動はバギー、てんかん発作もあり、食事はチューブから栄養剤を入れます。周りの目や設備面からなかなか家族で旅行に行く場所がありませんでした。

息子の掛かりつけ医の小口先生よりあおぞら共和国をお勧めいただき、利用させていただくようになりました。家族で、闘病仲間と、通園の友達と、いろいろな仲間と季節にたくさんの思い出を作らせていただいています。

夏休みには3泊して家族で暮らすように白州の自然を楽しませていただきました。秋には闘病仲間の親子3組、ママと子供達だけで気兼ねなく語り合い病気に立ち向かう英気を養いました。きょうだい友達も大はしゃぎで広いお風呂に入ったり一緒に鍋をつつきました。冬には通園の友達と隣の棟になり満点の星空を眺めたり、暖炉に

あたりながら語り合いました。

木のぬくもりが優しいロジは広さも十分で、肢体不自由の息子もゆったりくつろげます。設備も充実しており申し分ありません。このような素晴らしい施設を提供していただき、本当に感謝しています。

病児を抱えていると宿泊を伴う外出はなかなかできません。ぜひ多くの方があおぞら共和国で楽しい時間を過ごし、たくさんの思い出を作ることをお勧めいたします。



① 4号棟の前で記念写真、右端は管理人の青柳さん



② サントリー白州工場見学



③ 参加の子ども達



④ みんな友達です

特集

みんなのふるさと
夢プロジェクト

あおぞら共和国



吉竹さんご家族 (12月：2号棟ご利用) 東京都在住

あおぞら共和国を使わせていただきありがとうございました。4日間満喫しました。和知さんと一緒だったので夜は飲み会したり、昼間は広い敷地で、みんなでサッカーしたりシャボン玉をしたり存分に楽しむことができました。和知さんと同じ日程で中野さんという小口先生の紹介でいらっしゃった方がいて、その方のお子さんたちと入り乱れて遊んだので、誰がうちの子かわからなくなる感じでした。隼人は和知ママとふたごちゃんと仲良くアンパンマンDVDやらアンパンマンおもちゃで遊び、白馬くんと中野さんの二男君はパパ達とサッカー、という調子で。(笑)

中野さんとは初対面でしたが、障害児育児という共通話題があるとすぐ仲良くなり、遅くまで飲んでしゃべって

楽しかったです。あおぞら共和国もキャンプと同じような効果というか、癒しがあるなあと思いました。

薪ストーブは2歳の隼人がいても全然問題ありませんでした。薪ストーブの面白さと奥深さにはまり、最初に到着したとき以外エアコン使わず過ごしました。ゆらゆら揺れる炎を見ていただけで、行った甲斐がありました。

浴室棟は入りたかったのですが、やはり冬はあそこまでの行き帰りが寒くて、中野さんちだけが使っていたようです。素敵なロッジを今回も使わせていただき本当にありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



中野さんご家族 (8月：2号棟 12月：4号棟ご利用) 神奈川県在住

昨年8月に、初めてあおぞら共和国を1泊で利用させていただきました。私たちが主催している重症心身障がい児家族の会フレンドシップの夏のキャンプの下見のつもりが…。下見そっちのけで大変満喫しました。

2号棟のお部屋に入ったとたん、木の香りと温もりに包まれ、友哉(ともや12歳・重心)は和室に横になるとスヤスヤ気持ちよく昼寝を始めました。私たちも、日常をしばし忘れて、素敵な別荘を持ったような気持ちで、時の流れのままにゆったりと過ごさせていただきました。時計がない生活。とても貴重な時間でした!

お風呂棟では、広いお風呂に家族水入らずで、のんびり入りました。次男嗣哉(つぐや7歳)は、途中で寄った「道の駅白州」で、小川の蛙を捕ったりして楽しみ、あおぞら共和国の思い出を絵日記に残していました。道の駅では新鮮な地元の野菜やパン、自由に汲むことができる白州の天然水など、おいしい食材とお水に出会えるので、必ず寄りたい場所になりました。

また、歩いても行けるシャトレーゼの工場でのアイスクリームの無料試食は、我が家のパパ一番のお気に入りです(^^)。サントリー工場もおすすめのスポットです。

次回はもっとゆっくり過ごしたいね~ということで、1年



4号棟の薪ストーブの前で

の疲れを癒しに、昨年末2度目のあおぞら共和国へ行って来ました。暖炉の火を見ながらゆったり本を読んで過ごすのが夢でしたが、早速夢が叶いました!

そして今回は車で30分程のところにある、スキー場やアウトレットにも寄りました。ママはたくさんある温泉にも行きたかったのですが、それは次回のお楽しみということで…。でも一番良かったのは、結局一番近くにあったケルン珈琲でした。

また、同じ時期に泊まっていた他のご家族とも楽しい交流ができ、パパママたちは夜会、子どもたちは一緒にサッカーをしたりと、とてもよい出会いの場になりました。

また次回、あおぞら共和国に行ける日を楽しみにしています!

和知さんご家族 (12月：1号棟ご利用)神奈川県在住

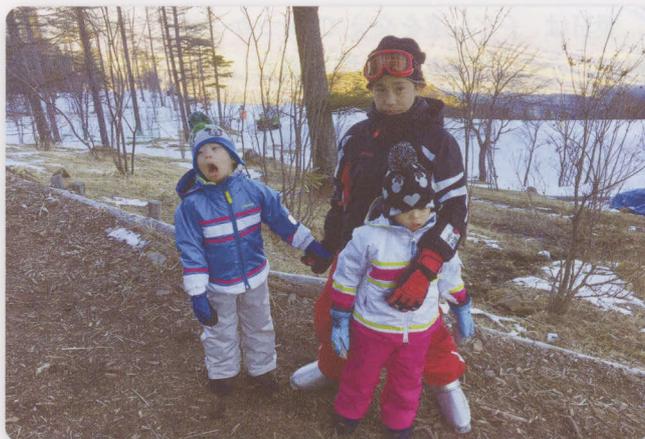
和知 恵子、白馬(小6)、冬馬・来馬(小1、ダウン症)

2015年12月28日から4日間、あおぞら共和国を利用させていただきました。5回目の利用です。1回目は山梨放送の取材、2回目は薪割りと雪遊び、3回目は友達家族と一緒にベルガで水遊び、4回目は友達家族と一緒に水遊びや吉竹さん・青柳さんご家族と一緒に…と回を重ねるごとに楽しみが増えていきました。

今回は、年末だから誰もいないのでは…と思いを抱いて出発。夕方の到着にもかかわらず、いつものように青柳さんが、温かく迎えて下さり入国しました。2号棟には、前回も一緒だった吉竹さんご家族、4号棟には初めてご一緒する中野さんご家族が滞在していました。「けいちゃん、夜みんなと飲むの?」と白馬に問われ「うん!」と張り切って答えたら「やっぱりね(笑)」と、子どもながら母の事をよく理解してくれて助かります。

今回の目的はスキー。最近、自分探しを始めた白馬が、一人でも大丈夫だから行きたいと、強く望んでいたのので、だったら母はやるしかない!と気合を入れました。双子を一人で見るにはかなりの気合が必要です。

富士見パノラマスキー場(ふじばら)は、あおぞら共和国から車で30分弱なのでとても行きやすく、一緒に



② ふじばら頂上付近

滑ったことがあるゲレンデなので、一人でも大丈夫だろうと息子を信じて出発しました。冬馬と来馬はソリや遊具で遊び、白馬は一人スキーを無事に終え、それぞれ楽しんだ後、みんなでゴンドラに乗り頂上まで行きました。



③ ゲレンデの白馬くん

初めてのゴンドラに、冬馬はワクワク、来馬はドキドキしていましたが、雪山ハイキング気分を少しだけ味わい、何事もなく降りてくることができました。

夜は、吉竹さんと中野さんに声をかけて、プチ忘年会を開きました。少し手がかかる同じ年の子どもがいて、ゆっくり飲んで話すなんて普段はなかなか出来ないけれども、この場所なら出来る事。病気の事、学校の事、自分たちの事、中野さんが活動されている事など話がつきませんでした。なかでも車椅子スキーツアーは、スキー好きの私にとってとても魅力的なお話でした。



① ゴンドラに乗って頂上へ(来馬くん、白馬くん、冬馬くん)

特集

みんなのふたば
夢プロジェクト

あおぞら共和国



翌日は、子ども達を交えて、サッカー組とアンパンマン組にわかれて、楽しい時間を過ごしました。吉竹さんを見送り、ケリーさんご家族が到着されてご挨拶しました。とてもかっこいいダウン症のお兄さん。パパとスキーへ行く聞き、いろいろなお話を聞いてみたいと思い、夜のお誘いをしました。

年末は、道の駅白州とサントリー蒸留所も休業のため、午後は姉を迎えてアウトレットへお買い物に行きました。子ども達の冬服も安く購入できて大満足。今回の予定をすべて終えて夕飯後、ケリーさんご夫婦とお兄ちゃん(こうた君)が、遊びに来てくれました。以前から、子ども達が大人になり、3人と乾杯することを夢見ている私と姉は、二十歳になった幸太君にお願いして、ビールで乾杯しました。子ども達と乾杯しているようで、とても嬉しかった。ケリーさんから、今までどのような環境で育ててきたか、どのように育ててきたか、スキーやスペシャルオリンピックス、今活動している事など、沢山のお話を聴くことができ、新たな目標ができました。



いつも気持ちよく過ごせるように、清潔に保ってください。青柳さんご家族や難病ネットの皆さまに感謝の気持ちを抱きながら帰路に就きました。今回も、行動力のある素晴らしいご家族とのご縁をつなげていただきました。私は心の充電ができる、白馬はそのままいられる、冬馬と来馬は…まだ話すことができないのでわかりませんが「自分の家」のように過ごせる、我が家に大切な時間をくれる“あおぞら共和国”、また「ただいま」と、里帰りさせていただきます。本当にありがとうございました。



④ 和知さん、中野さん、ケリーさん家族

菊池さんご家族 (2月:4号棟ご利用) 東京都在住

寒い日が続いておりますが、皆さまお変わりございませんでしょうか。2月初めの週末を利用して、4号棟を利用させて頂きました。



① あおぞら共和国の入り口ゲートで

初めての共和国。親子で、とてもワクワクしました♪ ドアを開けてみると、「わあ〜、暖炉!」思わず、声を上げていました。管理人の青柳さんが、丁寧に使い方を説明してくれましたよ。2階には、ロフトがあり、子ども達は大はしゃぎでした。自分のDSで、部屋の説明動画を作っていました。

お食事は、ロッジで自炊が出来ました。膵臓疾患の娘がいるので、とても助かりました。近所のセブイレブンでお米を買って、山梨産の、炊き立てのご飯を頂きました。何よりのごちそうです。棟の内のお風呂も広くて、時間を忘れて長湯しました。

夜の星空は、言葉では表現できないほど、素晴らしいものでした。星って、あんなにまぶしく光っているんですね。手を伸ばすと届くんじゃないか、そんな



② 食卓を囲んで

気がしました。その風景を眺めながら、自分の心が澄んでいくのが分かりました。

2日目は、富士見高原スキー場に行ってみました。あれっ？ スノーボーダーが居ない？ このスキー場はスノーボードの滑走はできない(ナイター営業時のみ滑走可)とのこと。また、インストラクターのサポート付きでハンディキャップのある方もスキーを楽しんでいました。素敵な光景でした。

あっという間の2日間。「また来たいね！また来たい〜」。子ども達は、何度も繰り返していました。次の機会を楽しみに、また明日から、子どもの健康管理に努めようと思います。



③ 2階のロフトで



④ 富士見高原スキー場で



事務局からのお知らせとご報告

お知らせ

みんなのふるさと“夢”プロジェクト 発足5周年記念 夢つなぐチャリティウォーク2016

2011年7月16日(土)国立オリンピック記念青少年総合センターで「みんなのふるさと“夢”プロジェクト」発足会が開催されてから早5年。発足5周年を記念して、難病ネット事務局(水道橋)からあおぞら共和国まで、4回に分けてチャリティウォークを開催いたします。みんなの夢をつなぐチャリティウォークに是非ご参加ください。

※参加には事前申し込みが必要です。開催日1週間前までにお申し込みください。

開催趣旨 「みんなのふるさと“夢”プロジェクト」の次の5年に向け、人と人をつなぐ輪をさらに広げるため。

期日・場所 : 2月20日(土)・21日(日)
難病ネット事務局 → 八王子 約45km
(23名が参加して終了)

3月12日(土)・13日(日)
八王子 → 大月 約46km

4月2日(土)・3日(日)
大月 → 甲府 約48km

4月23日(土)・24日(日)
甲府 → あおぞら共和国 約34km

申込先 : お電話かメールにてお申し込みください。
電話 03-5840-5972

メール 件名を
「夢つなぐチャリティウォーク2016
参加申し込み」とし、お名前、参加区間、
携帯電話の番号とアドレスを併記して
aозora@nanbyonet.or.jp まで
お送りください。



新緑 ウォーク 2016

期日・場所 : 4月23日(土) JR日野春駅～あおぞら共和国 11km

主催 : 甲府一高あおぞら会

参加費 : 1,000円

申込先 : aозora@ymkp.net

ホームページからお申し込みができます

<http://www.ymkp.net/aозora/>



あおぞら共和国



ロッジ3号棟・外周路 (一部) が完成しました。

「TOOTH FAIRY (日本歯科医師会)」と「日本財団」からのご寄附によるロッジ3号棟及び外周路(駐車場から浴室棟まで)が完成し、27年度中に工事完了検査及び引き渡しが行われました。4月21日(木)に3号棟の建物及び外周路と、三和シャッター工業株式会社様からご寄贈いただきましたスライディングウォール(部屋と部屋の可動式の間仕切り)の竣工式を執り行うこととな

ております。本稿執筆時ではまだ行われておりませんので、贈呈式の様子は次号で報告をさせていただきます。また、3号棟には4号棟同様、日本TV24時間テレビ様から、太陽光発電・蓄電システムを寄贈いただきましたので、贈呈式を4月24日(日)に執り行う予定にしております。こちらの様子も次号にてご報告させていただきます。



①ロッジ3号棟 外観。



②欄間部分(ステンドグラスが入る予定です)。



③居間の中央に設置された暖炉。



④階段踊り場にある談話スペース。



⑤トイレ、お風呂等へ続く廊下。



⑥和室。



⑦居室(洋室と和室)を仕切るスライディングウォール(可動式間仕切り壁)。



⑧お風呂。



⑩外周路。



⑨障害者用トイレ。





あおぞら共和国



夢つなくチャリティウォーク 第2行程、第3行程 報告

前号では第1行程のご報告をさせていただきましたが、『みんなのふるさと“夢”プロジェクト』の発足5周年を記念し、難病ネットワーク事務局（水道橋）から“あおぞら共和国”までの170kmを4行程に分けて歩く、『夢つなくチャリティウォーク』を開催しています。

第1行程（2月20日（土）21日（日））に引き続き、3月12日（土）13日（日）の二日間で、八王子駅から大月駅までの約48kmのウォークが開催され、延べ23名が参加し、事故もなく目的地の大月駅まで歩きました。

朝9時に八王子駅に集合し、記念撮影を済まし、早々に出発。前回に引き続き下河辺ファミリーと、今回初めて参加する吉竹ファミリーが、朝から一緒に歩いてくまし

た。途中、恒川さんご夫妻からバナナの差し入れをいただき、エネルギーをチャージしたところで1日目の難関、小仏峠を目指します。バスの終点を過ぎた辺りから舗装されていない山道へと入っていきます。足場の悪い山道を登っていき、1時間ほどで小仏峠に到着。八王子市街地を眺め、記念写真を撮り相模湖方面へ。急な山道を下り、国道20号線へ出てひたすら歩き、ちょうど17時、1日目の目的地、藤野駅へ到着しました。そこで解散し、2日間とも参加する男性6名で陣屋温泉に泊まりました。みんなで檜風呂に入り、地元の手作りの料理を食べながら疲れを癒しました。お風呂の間も、食事の時も話が尽きず、部屋に集まり、身体は疲れているはずなのに夜が更けていくのも忘れ、生命倫理についてや終末期医療についてなど、真剣に語り合っていました。



①第2行程、出発!



②恒川さんご夫妻からバナナの差し入れ。 ③小仏峠にて。



2日目、前回も参加してくれた辻ファミリーが参加してくれました。予報では雨とのことでしたが、何とか持ちこたえてくれて薄曇りの寒い朝となりました。朝9時に藤野駅に集合し、出発しますが、ちょこちょこ休んではお菓子を食べたり酒まんじゅうを食べたり、一向に前に進みません。お昼を食べ終わりペースアップして先を急ぎます。途中の談合坂サービスエリアで、東京平成ライオンズクラブ

の方が合流し、塩飴の差し入れをいただきました。今回は、アップダウンがあり、なかなか歩き応えがありましたが見晴らしが良いところもあって、樹々に囲まれたところもあって、歩いていてとても気持ちの良いコースでした。2日目は約26kmと、長い距離でしたが、みんな無事に目的地の大月駅に到着しました。



④第2行程2日目。



⑤みんなで歩きます。



⑥JR大月駅に到着。

第3行程は4月2日(土)3日(日)に行われ、JR大月駅からJR甲府駅までの48kmを歩きました。2日(土)の朝9時45分にJR大月駅に集合したのは13名、写真撮影をし、早速歩き始めます。この日は朝から霧雨が降る生憎の天気。笹子峠越えを前に不安な気持ちになります。『夢つなぐチャリティウォーク』の最大の難関、笹子峠を越えます。木立の中を縫って歩き、道なき道を峠目指して進み

ます。途中、沢に架かる木の橋を渡ったり、急な坂を、木を掴んで上ったり、険しい道のりです。やっとの思いで峠頂上にある笹子隧道に到着。峠を甲府側へ下り1日目のゴールJR甲斐大和駅へ。その日は、塩山温泉の中村屋という宿に泊まりました。しっとりとしたお湯の温泉と、満開でとてもきれいに咲いていた玄関先の桜が疲れを癒してくれました。



⑦第3行程、出発!



⑧矢立の過ぎの前で記念撮影。



⑨道なき道を歩きます。



⑩登録有形文化財、笹子隧道に到着。



⑪笹子隧道を通らず、峠越えをした健脚組。

2日目、JR甲斐大和駅を8時30分に出発し、22km先にあるJR甲府駅を目指します。スタート後ほどなくして合流した辻ファミリーを合わせて16人。甲斐大和から甲府までは、ほぼ下り基調。みんなの足取りも軽く見えます。東京では2、3分咲きだった桜も、笹子峠を越える

と甲府盆地では、ほぼ満開でした。きれいな桜を見ながら歩きます。この日、ウォーキングコースの笛吹市では、「第12回笛吹市桃の里マラソン」が行われていました。途中、「奥藤」というそば屋さんで遅い昼食をとり、JR甲府駅へ無事にゴールしました。

みんなの笑顔が
夢プロジェクト

あおぞら共和国



夢つなくチャリティウォーク 第2行程、第3行程 報告



⑫宿泊組、出発!



⑬第3行程2日目、スタート!



⑭桜が満開です。



⑮楽しくお喋りしながらウォーキング。

「夢つなくチャリティウォーク」にご参加いただきましたみなさま、ありがとうございました。第4行程、JR甲府駅から最終ゴールの“あおぞら共和国”までは、次号にてご報告いたします。

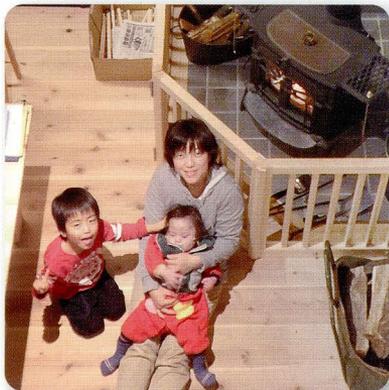


⑯JR甲府駅に到着。

宮崎さんご家族（3月：4号棟ご利用）神奈川県在住

3月18日から4号棟を使用させていただきました。友人一家と利用予定で申し込みさせていただいていましたが、友人一家は行けなくなってしまい我が家だけで宿泊致しました。

4号棟、とても広くて特にまだ座位の取れない次男が広い和室で自由に寝返りして探索活動をしていて楽しそうでした。薪ストーブの暖かさも朝の寒さを和らげてくれてとても過ごしやすかったです。長男はもちろん大はしゃぎで帰るときは淋しいと大泣きでした。



朝の寒さを和らげる暖かい薪ストーブ。

お天気も19日の夜中から朝までは土砂降りでしたが、あとは気持ちよく晴れて森林浴をしたりたくさん遊びました。

また、手術が終わって体調が落ち着いたら遊びに行きたいと思っています。

ありがとうございました。



気持ちよく晴れて森林浴も。

みんなのふるさと

夢

プロジェクト

あおぞら共和国

あおぞら共和国 ロッジ3号棟の 竣工式&スライディングウォール

(可動式間仕切り壁) 贈呈式が執り行われました。



山梨県北杜市白州町に建設中の“あおぞら共和国”で、第3号ロッジが完成し、その竣工式が2016年4月21日(木)に現地で行われました。

熊本での震災もあり、式典はこじんまりとした式典となりましたが、助成いただいた日本財団から佐藤常務理事、山梨県歯科医師会の井出会長が雨の中出席され、温かいご挨拶をいただきました。また、スライディングウォール(可動式間仕切り壁)を寄贈いただいた三和シヤッター工業株式会社の村井部長からもご挨拶を頂戴しました。

第3号ロッジはこれまでのロッジの中では最も大型で、建坪は50坪、20名が宿泊できます。

これで宿泊可能なロッジは、1号棟、2号棟、4号棟、そして今回のロッジ3号棟となり合計50名が宿泊できるようになりました。すでに患者団体で夏のキャンプを実施すべく申し込みも届いており、ますます利用しやすくなります。

今年は敷地内に芝を敷設するほか、野外ステージを建設する予定です。周回路(TOOTH FAIRY Road・トゥースフェアリーロード)も一部は完成しており、ロッジのそばまで車で行けるようになりました。



ロッジ3号棟 全景



レスハイト施設“あおぞら共和国” ロッジ3号棟 竣工式
並びにスライディングウォール 贈呈式



一般社団法人 山梨県歯科医師会 会長井出 公一様よりご挨拶いただく。



公益財団法人 日本財団 常務理事 佐藤 英夫様よりご挨拶いただく。



三和シャッター工業株式会社 事業戦略本部 営業推進部 部長
村井 丈夫様よりご挨拶いただく。



公益財団法人 日本財団 常務理事 佐藤 英夫様(左)と
一般社団法人 山梨県歯科医師会 会長 井出 公一様に
スポンサープレートを取り付けていただく。



Tooth Fairy ロード(外周路)。



3号棟に入っているステンドグラス。

みんなのふるさと
夢プロジェクト

あおぞら共和国



夢つなぐチャリティウォーク2016 第4行程(最終回)報告。

2016年4月23日(土)～24日(日)で「夢つなぐチャリティウォーク」の第4行程(最終回)が行われ、ついにあおぞら共和国に到着しました。

これで、「あおぞら共和国」のチャリティを目的に東京水道橋から白州の「あおぞら共和国」までの170kmを踏破するチャリティウォークが24日、終着しました。水道橋から白州への参加者は50名を超えました。

最終回の初日(23日土曜日)は晴天の中、甲府駅を、車いすを含め約20名で9:30に出発し、甲州街道を新道、旧道を行き来しながら白州へ向かいました。途中からの参加も加わりこの日は武川村の道の駅までの約27kmを歩き、この後ピストンで「あおぞら共和国」に移動し

て宿泊、翌朝再び道の駅へ移動して、白州までの約10kmを歩き始めました。車いすの参加者は3名となり、みんなで一緒に引っ張りながら白州へ向かい、先頭は13時過ぎに到着しました。

170km完歩は畑秀二さん、下河辺英司さん、日比美樹さんの3名で、仁志田総支配人から賞状を贈呈されました。

皆様のご支援に感謝申し上げます。



甲府駅を出発しあおぞら共和国を目指します。



甲府駅前に集合し、いざ出発!



途中、富士山を眺めながら昼食



みんなで歩きます。



1日目歩いた後、あおぞら共和国ロッジ3号棟に宿泊。



2日目、武川の町の駅からあおぞら共和国を目指して歩きます。



東京から168km!



170km完歩者の畑秀二さん(手前右)、
下河辺英司さん(手前中)、日比美樹さん(手前左)



あおぞら共和国



太陽光エコシステム贈呈式が執り行われました。

夢つなぐチャリティワークの最終日(4月24日 日曜日)に、公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会様よりご寄贈いただいた太陽光発電システムの贈呈式が行われました。大規模な太陽光発電・蓄電システムが完成し、再生エネルギーを主体とするあおぞら共和国の環境設備が整ってきています。このシステムで年間およそ5トンのCo2が削減されます。

ご支援いただき、誠にありがとうございます。



公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会様のゲストを囲んで記念撮影。

宿泊利用者延べ1,000名達成記念セレモニー 報告。

“あおぞら共和国”ロッジ1号棟が利用を開始したのが2014年7月。ロッジ2号棟が2014年10月、ロッジ4号棟が2015年10月より、それぞれ利用を開始しました。宿泊利用が始まって約2年、ついに延べ宿泊利用者1,000人を達成することができました。

2016年6月4日(土)～5日(日)で利用いただいた神奈川県からお越しの渡辺さんご一家が1,000人目の利用者となりました。樹(たつき)くん(4歳・両大血管右室起始症)と蒼葉ちゃん(8歳)のきょうだい、従姉妹の湊佑くん(3歳)とそれぞれのご両親の7名でご利用いただきました。

セレモニーでは3人の子どもたちにくす玉を割ってもらったあと、仁志田総支配人より花束とプレゼントが手渡され、子どもたちはとても喜んでいました。ご両親は突然のサプライズに驚きながら、カメラのシャッターを何度も押していました。

子どもたちは早速ロッジに入り、樹くんの周りを走りまわったり、また階段を上ったり下ったりして、大いにはしゃいでいました。

6月よりロッジ3号棟が利用開始となり、ますます利用者が増えることと思います。



祝・述べ宿泊利用1,000人達成!



仁志田総支配人より花束贈呈。

“あおぞら共和国”が商標登録されました。

かねてより申請をしていました“あおぞら共和国”の名称が商標登録され、商標登録証が届きました。これからは名称の後にRマークを付けることができます。



“あおぞら共和国(R)”商標登録証。

みんなのふるさと

夢プロジェクト

あおぞら共和国

初夏の草刈・薪割りボランティア報告

恒例の初夏の草刈・薪割ボランティア(6月11日12日実施)には、大勢の皆様のご参加をいただき、大変ありがとうございました。11日は29人、12日は22人、梅雨入りしたばかりでしたが好天に恵まれ暑い最中の作業お疲れ様でした。

前回までの草刈りで、セイウヤマゴボウやクズなどは徹底的に掘り取ってきたので場内では少なくなってきたのですが、ヒメジョオンや、東側の手付かずの場所ではフジやキイチゴが勢力を伸ばし、毎年いちごっこの作業になりそうです。また敷地内のU字溝内に溜った枯葉なども掃除できました。今回もお隣の

サントリー白州工場様や地元の皆様、あおぞら会の皆様など大勢の方々にご参加いただきましたこと感謝いたします。

薪の調達や薪割も順調に進みました。薪となる原木や薪割機のご提供など地元の皆様にはいつも協力有難うございます。

サントリー様からは天然水など飲み物を差し入れていただきました。いつも有難うございます。また、神奈川の稲場様からは多数の草刈り道具をご寄贈いただきました。2日間作業にご参加の皆様お疲れ様でした。大変有難うございました。



11日の参加者



草刈り



U字溝掃除・草刈り



草刈り後



みんなのふるさと
夢プロジェクト

あおぞら共和国



薪作り



強力な薪割機と薪の山

3号棟・4号棟にスロープができました。

梅雨明け間近の7月21～24日、畑 秀二さんを中心に甲府一高OBの方々など6人の団塊の世代が集まり3・4号棟のスロープ作りを行いました。今までは仮設のスロープでご不便をお掛けしましたが、これからは不便なくテラスへの出入りができるようになりました。猛暑の中、作業に携わっていただき有難うございました。



3号棟スロープ



4号棟スロープ



利用感想レポート

屋宜さん家族（8月：2号棟ご利用）東京都在住

念願のあおぞら共和国に、家族、親戚と一緒に宿泊させて頂きました。

檜の香りのする清潔なロッジに、到着するや、皆でキャーキャー言いながらロッジ内を見学しました。

10才になる娘は、肢体不自由で車イス生活を余儀なくされ、毎回、宿泊施設を探す事に苦勞していました。また、宿泊が出来ても、大抵、段差や設備の不備で、大きなお風呂に入る事を断念せざる負えませんでした。

あおぞら共和国では、ロッジまで車で行く事ができ、また、玄関までスロープがある為、車イスごと室内に入る事が出来ました。入浴施設にも、お風呂マットや、着替え用

のベッドがあり、安心してお風呂に入れる事が出来、痒いところに手が届く施設になっていると、感激しました。

敷地は自然に溢れ、トンボを追いかけたり、虫を探したり子供達も大喜び。大人も童心に帰れるような、温かな空間でした。

今回は一泊の滞在でしたが、次回は是非、お友達や、娘と同じ病を持つ家族の交流の場として利用出来たら良いなと思いました。

このような施設を提供して下さいの方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。今後もたくさんの方々にご利用して頂けたら嬉しく思います。





あおぞら共和国



SSPE青空の会キャンプ ご報告 (7月：全棟利用)

7月29日(金)～31日(日)に標記家族会のキャンプを総勢44名の参加者を得てあおぞら共和国にて実施しました。

キャンパーは3家族と少なかったため、1, 2, 4号棟をキャンパー家族専用とし、ボラ宿泊、イベント、食事などは全て3号棟を活用しました。狭いかと懸念していましたが、逆に互いのコミュニケーションが良くなり、また、他者のいない、気兼ねない専用施設の快適性を満喫できました。

食事、寝具のセット、掃除などすべてセルフサービスでも、それがかえって、互いの絆を高めることになったと思います。

医療者との車座での情報交換会、総会といったフォーマルなものからゲーム大会、夜の飲み会とフランクなものまで、3号棟で机のレイアウト変更だけで実施できる素晴らしい施設でした。



つくしの会キャンプ ご報告 (8月：3号棟ご利用)

おはようございます。お陰様で、白州の2泊3日のキャンプは無事に終了いたしました。有難うございます。木の香も高く、素足に気持ち良いつくりでした。ただ、成年当事者には、少々食器棚が高すぎて、鍋・食器の出し入れが大変でした。階段も少々段差があり、もう少し低いと足にハンディのある子供にも、上り下りが楽だと思います。方々にトイレがあるので、それも我慢せずにいけて、好評でした。

なんといっても、彼方此方見学しなくても、ホールでゴロと横になり通り過ぎる風に吹かれながら、日がな一日……昼寝と本を読んで過ごしたくなりました。周囲に気兼ねすることもなく、大きな声も出せて、珍しい虫にもあえて……

本当に命の洗濯をさせていただきました。

管理されている青柳さんのご夫婦にも親切にいただき、感謝しております。青年たちからも、ぜひ利用させて頂きたいと、リクエストがありました。今後ともよろしくお願ひいたします。

まずはお礼を書かせていただきました。



『あおぞら共和国』

秋の草刈り・薪作りボランティア参加者募集

草刈り・薪作りボラ 10月1～2日



6月の初夏の草刈りには、大勢の皆様のご参加をいただき、大変ありがとうございました。昨年の草刈り時期は11月でしたので、すでに雑草の種が実った後だったため今年実施時期を早めました。また、新たに隣接地も難病ネットが使用できることになりましたので、草刈り、薪作りのほか、隣接地の林内整備などもできればと思っています。今回も皆様のご協力よろしくお願ひいたします。

記

- ▶ 期 日 : 10月1日(土)10:00 ~ 16:00
10月2日(日) 9:00 ~ 15:00
(※どちらか1日でも可、途中参加可、小雨決行)
- ▶ 場 所 : 『あおぞら共和国』 現地
山梨県北杜市白州町鳥原字向林2913-14
- ▶ 作 業 : 草刈り、薪作り、場内整備、隣接地林内整備など
- ▶ 道 具 : 作業用手袋、作業服、作業靴、雨具
(※ヤマウルシ、虫刺され予防のため長袖着用をお勧めします。)
シャベル、草刈り鎌、エンジンチェーンソーなどお持ちいただける方は、ご持参ください。
- ▶ 集 合 : 現地集合、車かJR小淵沢駅よりタクシーをご利用下さい(約10分)。
- ▶ 費 用 : ボランティア保険代(300円 当日徴収します。 ※未加入者のみ)
(※加入手続きは難病ネットで一括して行います。)
- ▶ 昼 食 : お弁当をご持参下さい。
希望者には近くの「名水そば」を予約します。要事前申込み(そば+天ぷら1,200円)
- ▶ 申込締切 : 9月26日(月) ※9月27日(火)にボラ保険の加入手続きをします。
- ▶ 申 込 先 : E-mail : aozora@nanbyonet.or.jp (メール件名:草刈り申込)
難病のこども支援全国ネットワーク 柿木・青柳まで
- ▶ 宿 泊 : 9月30日、10月1日の宿泊(雑魚寝)での参加は可能です。
- ▶ 申込み時
記入事項 : ①参加希望日 ②参加者氏名 ③住所 ④携帯電話
⑤ボランティア保険の加入済の有・無 ⑥昼食申込(そば)要・不要
⑦宿泊希望日、人数





あおぞら共和国



催：認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク

チャリティウォーク 2016.10.29

『あおぞら共和国』チャリティーウォーキング参加者募集！

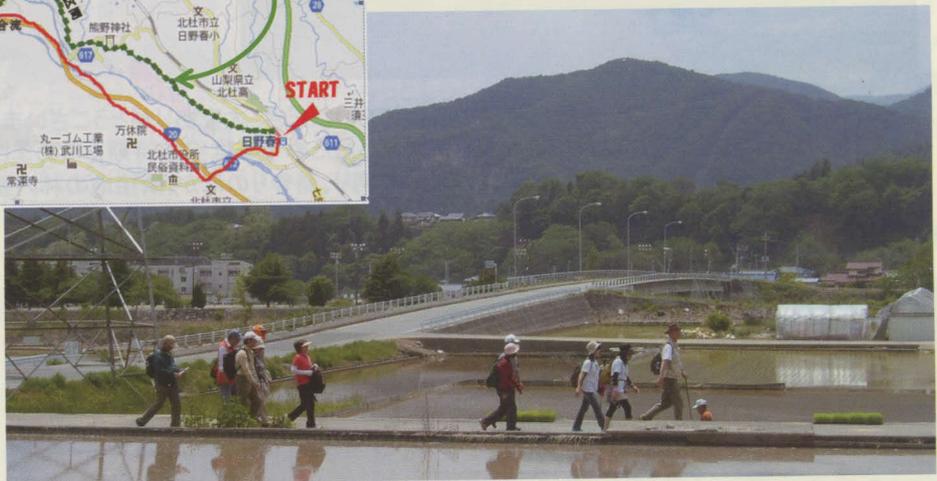


JR日野春駅 → あおぞら共和国まで12km

自然歩道コース
今回、こちらは歩きません。

一般コース

車イスを使用する難病の子どもたちが走行しやすい車道を中心としたコースです。歩きやすい道です。開けた所が多いので、富士山、駒ヶ岳、八ヶ岳などの山々の眺めが最高です。



記

- 日時：10月29日(土) 小雨決行(ホームページでお知らせします。)
- 集合：JR中央線 日野春駅 10時集合 10時15分出発
新宿08:00(スーパーあずさ5号)⇒09:28甲府乗り換え09:32(各駅停車)⇒09:59日野春
(※甲府駅での乗り換え時間が短くホームも異なりますのでご注意ください。)
- 日程：日野春駅～あおぞら共和国まで12km約4時間
14時半頃からあおぞら共和国で完歩お疲れ様会 & あおぞら共和国見学
15時半～16時半頃解散 帰りは小淵沢駅まで乗り合いタクシー
- 参加費：無料です。(ゴールの『あおぞら共和国』で募金してください。)
- 服装：帽子、気温差に対応できる上着、歩きやすい靴、雨具
- 持ち物：軽く食べられる昼食 飲み物
- お申込：難病のこども支援全国ネットワーク(担当：青柳) aozora@nanbyonet.or.jp
メール件名(ウォーク申込)、お名前、お電話(当日連絡のつく電話)、
グループ参加の場合はグループ名、全員のお名前、お電話、リーダー名もお願いします。
- 申込締切り：10月21日(金)

がんばれ共和国 25周年記念講演会

～ がんばれ共和国からあおぞら共和国への軌跡 ～

日時：2016年11月19日（土） 12時半開場 13時開演

場所：山梨県立図書館 2F 多目的ホール

〒400-0024 山梨県甲府市北口2丁目8番1号

■ 開催趣旨

1992年、富士山の麓でサマーキャンプ“がんばれ共和国”が最初に開催されて今年で25年が経ちます。これまで「がんばれ共和国」に参加した難病や障害のあることとその家族が、何を感じ、どう思ったか、また、参加したボランティアや関わっている方々がどういう思いで携わっているのか、それぞれご講演いただきます。

「がんばれ共和国」は現在、毎年全国9箇所で開催されています。中には全館貸し切りではなく一般の宿泊客と一緒にの時もありました。他の宿泊客からの心ない言葉…。悲しい思いをすることも多々ありました。いつしか気兼ねなくみんなが集まれる場所が欲しいよね、という思いが

出はじめ、それが「みんなのふるさと“夢”プロジェクト」「あおぞら共和国」として現実のものになろうとしています。

「がんばれ共和国」に関わる方々の思いを聞き、「がんばれ共和国」の今後と、それから生まれた「あおぞら共和国」に期待することをみんなで考える講演会にしたいと思います。

講演者：小林信秋、仁志田博司、下河辺治美、蔭山真知子、
露木和雄、吉竹琴水、柿木憲治



★お知らせとお願い★

あおぞら共和国では、9月から11月の間、中央広場に芝を植栽する工事を行います。その間、中央広場には立ち入ることができなくなりますので、駐車場から外周路に入って荷物の積み降ろしをしていただきますようお願いいたします。

車輛1台は各ロジ横の駐車スペースに停めることができます。その他の車輛は、駐車場をご利用ください。

みんなのふるさと

夢プロジェクト

あおぞら共和国

報告：芝の植栽工事

8月下旬より、あおぞら共和国の中央広場に芝を植栽しようとして準備を進め、9月29日に播種しました。今回蒔いた種は、芝が2種類と小さなクローバー（マイクロクローバー）です。

まず、地面表面の土を20cm程さらい、そこに特殊な管を配置します。この管には小さな穴があいており、そこから水が染み出てきます。管を動かさないよう所々留め具で固定し、その上に土を被せ埋め戻します。管の小さな穴からは、水は出ますが砂は入らないようにつくりになっています。そして、肥料を撒き、種を吹き付けます。種は、風が吹くと飛んでいきそうなくらい小さいため、着色した水に混ぜ、吹き付けました。埋設した管は、2,500メートルにもなり、発芽し根が

出ると水を求めて管の方へ根を伸ばすとのことです。管に通す水は、季節や天候などにより流したり止めたりする装置が取り付けられ、完全に自動制御されています。

播種して3～4日で芽が出てきており、3～4週間後（10月下旬）1回目の刈り込みを行う予定になっています。

この芝の種と肥料、その播種作業を含め『東洋グリーン株式会社』様（東京都中央区日本橋人形町2-33-8）より、埋設した管と散水制御装置、その他設備は『トロカンパニージャパン』様（東京都中央区日本橋蛸殻町1-36-2）より、ご寄付いただきました。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。



表面の土をさらいます



配管作業



種



播種作業①



播種作業②



播種作業完了



散水制御装置



10月3日現在



10月6日現在



報告：秋の草刈・薪割りボランティア

恒例の秋の草刈りボランティア(10月1日、2日)には、大勢の皆様にご参加いただき、大変ありがとうございました。1日は31名、2日13名、合計44名のボランティアさんに参加していただき無事に行うことができました。

草刈は、コセンダングサ(ひっつき虫といわれる一種)の引き抜き作業や、背丈の伸びた雑草の刈り取り作業を行いました。また、隣接地の倒木の切り出し、運び出し作業、薪作りなどが行われました。

今回参加していただいたボランティアさんの中には、あしがらキャンプでカヌーを教えていただいていた、土方先生にも参加していただきました。

サントリー様からは、夜勤明けのままボランティアに参加していただいたり、ボランティアのために仕事を休んでいただいた方もいらっしゃいました。

サントリー天然水南アルプス白州工場・サントリー白州蒸留所様や地元の皆さま、あおぞら会の皆様など大勢の方々にご参加いただきましたこと感謝いたします。

サントリー様からは天然水など飲み物を差し入れいただきました。いつも有難うございます。また、小口弘毅先生より金精軒のどら焼きを差し入れいただきました。2日間作業にご参加の皆様お疲れ様でした。大変有難うございました。



草刈り頑張るぞ!

みんなのふざで
夢プロジェクト

あおぞら共和国



焚き付け用の枝折



三平運営委員の初体験



雑草の掘り起こし草刈りの様子



雑草の掘り起こし



倒木の伐採

利用感想レポート

スタージューパー家族の会 代表 竹内さん (9月:全棟ご利用) 埼玉県在住

9月18日から19日の一泊、あおぞら共和国の全棟を会の年中行事の旅行会で利用させていただきました。

昨年と同じシルバーウィークに一泊で利用させていただきましたが、「がんばれ」にその際の様子を寄稿させていただきましたが、今年は宿泊棟が増え、45名の参加者全員がスペース的にも余裕を持って宿泊することができました。

専門医1名、看護師2名（看護師の方は、いずれもお子様がお会対象疾患を有しています。）が参加することから、参加希望者が多く、一時は定員いっぱいの50名までいったのですが、前日に患者の体調不良から1家族5名が不参加となり、結局45名となりました。

患者本人も家族も、スタージューパーの患者は顔面の特徴がある赤痣があるなど様々な障害を有していることから普通に泊付きの旅行をすることが難しいので、患者家族と専門医等だけで行くこの旅行会は皆楽しみにしております。

去年は福岡県からの参加があり、今年、奈良県からと

遠方からの参加者もあります。

今年はいいにくの雨でしたが、新設の3号棟が大きく、ヒサシ付きのテラスもあるので、皆で楽しむことができました。

子供達も、雨をものともせず、戸外を走り回っておりました。ただ、管理人の青柳さんには、退去の時間が昼過ぎと遅くなってしまったり、布団の運び出しのために設置してあったターフを勝手に片付けてしまったりと色々ご迷惑をおかけしてしまい、本当に申し訳ありませんでした。

代表の統率力のなさが原因です。

重ねてお詫び申し上げます。

お詫び申し上げたところで恐縮なのですが、本会では、来年もやはりシルバーウィークの時期にあおぞら共和国を利用しての旅行会を予定しており、会員からは早速、「来年もぜひ参加したい。」と言われております。

来年も、是非、利用させていただきたく、よろしく願い申し上げます。



種村さん(8月:1・2号棟ご利用) 東京都在住

8月6日～2泊で利用させて頂き誠にありがとうございました。管理人の青柳さんには大変親切にいただき感謝です。

3号棟の方々が私どもの為に花火を事前に用意してくださっており、駐車場で一緒に楽しみました。他にもロッジの前

ですいか割りをしたり、子供たちのいい夏の思い出になりました。

お礼が遅くなり申し訳ありませんでした。もし可能でしたら年内寒くなる前にもう一度、リフレッシュしに伺いたいと思いい申し込みさせていただきます。

吉竹さん(9月:ロッジ4号棟ご利用) 東京都在住

昨日はあおぞらを使わせていただきありがとうございました。

現地に着いたら、がんばれキャンプでいつも一緒になる柳井さんがいらっしゃって、びっくり、感激!(涙)その日はもちろん子どもを寝かしつけて、宴会で盛り上がりました。

次の日も一緒にシャボン玉したり、のんびり和室でごろこ

ろしたり、健くんと楽しいひと時を過ごせてとても充実した休日になりました。

美乃里も車いすから手を伸ばしてコスモスを触ったり、虫や鳥の声を聞いたり、弟も朝から晩まで虫取りに明け暮れ、あおぞらの中で過ごすのが一番幸せです。

CMT友の会代表山田隆司さん(9月:3・4号棟ご利用) 東京都在住

帰り際の大雨で退出時間がおくれてしまいご迷惑をおかけしました。子供たちのよい笑顔がたくさん見るこ

とができた二日間で、本当に感謝しております。いつもありがとうございます。



あおぞら共和国



利用感想レポート あおぞら共和国を利用して(感想や要望など)

2016年10月 CMT友の会

利用日① 2015年12月27日(日)・28日(月)：1号棟・4号棟

利用日② 2016年9月17日(土)・18日(日)：3号棟・4号棟

【お風呂棟】

- すごくきれい。木の香りがして雰囲気がいい。
- 露天風呂が楽しみ。
- 各小屋からのアクセスが不良・・・①②
- 浴室に入浴用の介助椅子がほしい。市販のプラスチックイスは座面が狭くて低いので立ち座りが怖い。
- 入浴用の車いすがあっても助かる。
- 風呂棟の入り口(靴を脱ぐところ)に腰掛けるベンチと手すりがあると安全で助かる。
- 脱衣スペースの中央にベンチやいすがあると助かる。
- トイレや洗面台は使いやすくてよかった。

【トイレ】

- 3号棟のトイレがたくさんあって、それぞれ使いやすくてよかった。
- 3号棟：男子の小便器に手すり(もたれるタイプ)があるといい。



【キッチン】

- 1号・4号棟は小ぢんまりとして使いやすいキッチン。3号棟は対面で広々していて使いやすかった。
- 3号棟：対面キッチンなので料理中に参加者たちと視線が合うことが多く、一体感があった。
- フォークが置いてあるとよい。手の麻痺があるメンバーもいるので。

- ピーラーが置いてあるといい。
- お皿の種類として、取り皿があるとよい。大皿料理を作ることがあるのでとりわけできるとよい。
- 収納が多く、食器の種類も多く、家電が充実している。
- 家電用に延長コードが置いてあるとテーブル上でホットプレートが使いやすいかもしれない。
- 複数の小屋を借りた場合、食事は一緒に取ることが多い。食器をそれぞれの小屋から持ち寄って使用するようになっているので、退出時チェックシートがあるのは助かる。丈夫なカゴがあると、小屋間の物品移動に便利かもしれない。

【玄関】

- 小屋の入り口に腰掛けられるベンチや、イスを置くスペースがあると、靴や装具を脱着しやすい。
- 手すりもついているとよい。
- 4号棟：扉の開く方向からしてイスを置くことも難しい。
- 1号・3号棟：広々しているので椅子を2つほど置いて脱着スペースとした。靴はウッドデッキに放置。3号棟の玄関はほとんど使わなかった。
- 傘立てがあるとよいです。

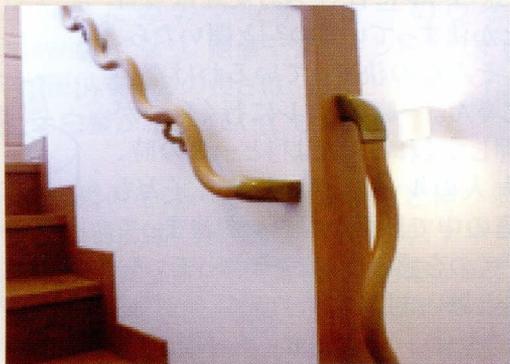
【小屋まわり】

- 3～4号棟の移動について、1～2号棟のようにウッドデッキがつながっているとうれしい・・・②
- 小屋横の駐車スペースについて、チェックアウト時に大雨だったこともありウッドデッキから将来的に屋根が続くと、荷物の載せおろしや車いすメンバーの乗降がやりやすいと感じた・・・②
- 3号棟の貸布団がフカフカで寝やすかった・・・②
- 駐車場から各小屋へのアクセスが良くなり(道路)助かった・・・②



【小屋の中】

- 3号棟：階段が怖い。急なので滑り止めテープなど貼っていると安心。
- 階段の手すりが角形なので、ぜいたくを言うならば丸形や波型が嬉しい。CMTは握力がなくて握やすいとよい。



- あわよくば手すりは両側にあると使いやすい。
- 4号棟：和室の入り口に手すりがあると上り下りしやすい。車いすメンバーや子供にとって、高さのある部屋は移乗しやすくて助かった。
- 1・3・4号棟：畳スペースがあるのはとても落ち着く。

【その他】

- CMTのように遺伝疾患だと、参加する子供だけでなくその親も当事者である。その場合、健常者の親が障害や難病のこどもをフォローして過ごす（抱えるなど）のではなく、親自身もすごしやすいことが大切になる。CMTは「歩きにくい」～「車いす」という幅広いメンバーがいる。
- 障害のある親が障害のある子供をフォローしやすい居住空間づくりというのは大変難しいが、あおぞら共和国の小屋には可能性がたくさんあるのでこれから利用を続けることが楽しみである。
- これからもどうかよろしくお願いします。人気が出て使いやすくなって予約が取れなくなったら困るなあと、参加者みんなで話していました。

